

長年にわたる救急医療への貢献が認められ、理事長を務める患愛病院（登別市）が、2020年度表彰を受けた。精神科の専門病院とし



て、夜間・休日にも対応した救急体制を整備。救急搬送を含めた、例年の時間外の外来受診は約160件に及ぶ。

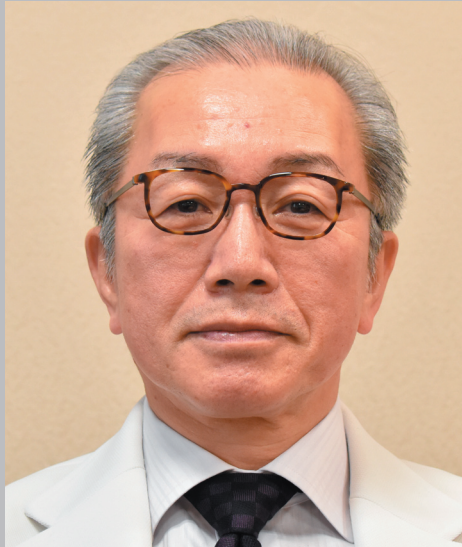
「多くの急患の受け入

救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受けた

村下 十志文氏

れなど、総合的で高い水準の診療体制を築いてきた取り組みの賜物と思う。

精神科救急医療施設として、10年に道内で2番目となる社会医療法人に認定され、翌11年には精神科急性期治療病棟を開設。3カ月以内の退院率は約7割に及び、近年は



精神科急性期医療を強化

1カ月ほどで退院する患者が増えていくという。精神疾患の早期発見へ、訪問診療に力を入れていくことも、入院期間の短縮に寄与している。

外来は精神科、神経科に加えて、循環器内科、内科、呼吸器内科、小児科も標榜。室蘭市内の総合病院と密接な協力体制を築き、切れ目のない医療を展開している。

地域医療のさらなる充実へ、内科の訪問診療も開始する予定だ。「地域で急性期を終えた患者を主体に、高度な診療で地域に貢献したい」。